

○クマに注意

令和6年5月24日、石川県は「ツキノワグマ出没注意情報」を発令しました。クマの被害に遭わない、引き寄せない対策に引き続きご協力をお願いいたします。



○農業者年金の手続きを忘れず

農業者年金を受給されている方は毎年6月に現況届を農業者年金機構に提出する必要があります。

出し忘れていませんか？

提出先は 農業委員会事務局まで

(市役所別館4階)

○熱中症に注意

夏を迎え、熱中症のリスクが高まっています。

・高温時の作業は避けましょう
一般的に高齢の方は、のどのかわきや気温の上昇を感じづらくなります。日中の気温の高い時間帯は外して作業しましょう。

・単独作業は避けましょう

なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょう。

・こまめに休憩＆水分補給しましょう
涼しい日陰などで体温を下げましょう。また、のどがかわいていなくても、こまめに水分補給しましょう。

熱中症は野外だけでなく、屋内でも注意が必要です。



○農地パトロール出発式

8月6日(火)、白山市鶴来にて加賀地区の農地パトロール出発式が行われます。

遊休農地の解消・発生防止や無断転用防止及び優良農地の確保と農地の効率的な利用推進に向けた取り組みを一層強化するため県内南部の農業委員会が結集して意識の高揚を図ります。

○編集後記

7月に入り、今年も折り返しとなりました。次号は11月発行予定です。

(編集子)



加賀市 農業委員会 だより

No.16

2024.7 発行

加賀市農業委員会
〒922-8622
加賀市大聖寺南町ニ 41
加賀市市役所別館 4 階
TEL 0761(72)7915
FAX 0761(72)7991



記事

- 農業委員会会長大会
- 能登半島地震

表紙

全国農業委員会大会で挨拶する國井全国農業会議所会長

全国農業委員会会長大会

令和6年5月29日、文京シビックホール（東京都文京区）で「令和6年度 全国農業委員会会長大会」が開催されました。

農業委員会の会長等全国から約1,800人が参加し、石川県からも加賀市を含む9市町15名が参加しました。当日は、食料・農業・農村基本政策の具体化に向けた政策提案など4つの議案が決議され、大会終了後は石川県選出国会議員に対して要請活動を行いました。



ガンバロー三唱で氣勢を上げる
石川県からの参加者

食料・農業・農村基本法改正

同日、食料・農業・農村基本法の改正法が成立しました。「農政の憲法」とされる同法は1999年の制定から四半世紀を経て初めての改正となりました。

世界情勢を反映した「食料安全保障の確保」や生産コストを加味した「食料の価格形成」、地域社会が維持される「農村の振興」等が改正のポイントで、政府は次期食料・農業・農村基本計画の策定に向けて施策の具体化を進めていきます。

改正のポイント

- ・食料安全保障の確保
- ・食料供給能力の維持
- ・生産コストを加味した価格形成
- ・食料生産時の環境負荷軽減と環境への調和
- ・農業の持続的発展
- ・地域社会の維持につながる農村の振興

現地確認に参加しました

加賀市農業活性化協議会が毎年行っている農地の現地確認に、加賀市農業委員会も参加しました。

コロナ禍で控えていた地元生産組合の方との同行も今年度から再開し、細目書の記載と圃場が一致しているかを、現地にて確認しました。

この結果は、8月初旬に各耕作者に伝えられ、経営所得安定対策事業の基礎資料となります。



能登半島地震（その後）

本年1月1日に発災した能登半島地震から7か月が過ぎました。市内は日常を取り戻したかに見えます。そんな日常にまぎれた、今なお癒えない震災の傷を取材しました。

○耕作できない被災田

田植えからおよそひと月。植えられた苗が並ぶ水田の中、ポツンと水が張られていないほ場があります。

一見するとただの休耕田に見えますが、これは地震による局地的な田面の隆起・沈降により水田耕作ができなくなった「被災田」。震災の爪痕です。



局地的な隆起で耕作できなくなったほ場。両隣は青々とした苗が育つ。（新保町）

○用水を絶たれ稲作ができないほ場



（干拓町）

見渡す限り、水のないほ場。普段なら今頃、水を湛え稲苗が風に揺れる水田のはずだった場所。

用水路、排水路が被災し水の供給が絶たれ、水稻の作付を断念せざるを得なかったほ場です。

○一見すると震災とは無関係に見える土地が、実は癒えぬ震災の傷跡であつたりします。



崩れたままの路肩と
傾いたままの電信柱
（同右）



2車線共に通れなくなって
いて、左に仮設車線が作られて
います。（新保町）

○仮設のままの道路

地震の爪痕はほ場だけではありませんが、

未だに片側交互通行の道路。震災で路肩が崩れたままになっています。